外郭団体ミッション遂行評価票

【令和4年度取組結果】

団体名 公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム 所管課 総務局 女性の輝く社会推進室

団体に対するミッション

①日本及び他のアジア諸国の男女共同参画に関する 調査研究、国際交流、情報収集・発信等を通じて、 日本及び他のアジア諸国の女性の地位向上及び男女 共同参画社会の形成の推進を図り、相互の発展に寄 与する。

②団体が有する国際的視点を備えた高い専門性や知 識・情報、人的ネットワークなどを活用し、女性が 活躍できる経済社会の実現など、本市における男女 共同参画社会の形成の推進に寄与する。

行財政改革大綱における見直し内容

研究部門については、国際的な視点からの男女共 同参画に加えて、その時々の行政課題等に的確に対 応し、市の政策課題である「第3次男女共同参画基 本計画」の重点取組みに直結した業務を行い、その 成果を市民に見える形で還元していく。なお、成果 が見られなければ、大学等との統合、又は、廃止を 検討する。

また、既存事業をゼロベースで精査・見直し、同 計画の具体的施策を具現化するための事業に集中し て取り組む。

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に 目指す状態

団体が有する国際的視点による知識・情報、人的ネットワークを活用し、調査研究、国際交流、情報収集・発信 事業、及び男女共同参画センター・ムーブのジェンダー平等、女性のエンパワーメントの視点による各種講座の 企画・実施、情報収集・発信、相談事業等により男女共同参画社会の形成を推進する。 団体のミッションに沿った事業の見直しを行い、それに合わせた組織体制とすることで効果的・効率的な団体の

運営を行っていく。

| | | 年度ごとの目標及び実績 (太枠は最終目標年度) 30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 | | | | | | | | |
|--------------------------------------|-------|---|-------|-------|-----------------|-------|-----|-----|--|--|
| 主な成果指標 | H30 | R1 | R2 | R3 | R | R4 | | R6 | | |
| | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 目標 | | |
| 男女共同参画という言葉の認知度 | 70% | _ | | - | 80% | 78% | _ | | | |
| 「研究報告会」・「アジア女性会議」・「国際理解セミナー」の参加者満足度 | 88% | 93% | 81% | 91% | 80% | 89% | 80% | 80% | | |
| 「研究者ネットワークセミナー」・「キャリア形成プログラム」の参加者満足度 | 67% | 83% | 84% | 84% | 80% | 86% | 80% | 80% | | |
| 男女共同参画センターの事業数 | 124講座 | 126講座 | 78講座 | 114講座 | 前年度 と同程 度 | 134講座 | | | | |
| 勤労婦人センターの事業数(R2で廃止) | 123講座 | 113講座 | 106講座 | | | | | | | |

ミッションの遂行状況の評価(令和4年度)

団体に おける 評価

第4次北九州市男女共同参画基本計画を踏まえ、フォーラ ムでは、客員研究、アジア女性会議、国際理解セミナーな どタイムリーな内容で情報発信を行い、市民の理解を深め ている。ムーブでは、男女共同参画講座や就業支援講座、 相談事業、情報事業の充実に務め、また、参加者の利便性が図れるオンライン方式を取り入れるなど、参加者の高い満足度を得ることができた。

今後の 課題及 び見直 し内容

国連が定めた行動計画であるSDGs及び第4次北九州市男女共同参画基本計画を

市の評価

男女共同参画センタームーブにおいて、女性の政治分野、男性の家事・育児・介護、女性のエンパワーメント等、現状課題に即した幅広いテーマの講座を実施している。また、国際の分 野では、国連女性の地位委員会に参加し国際理解セミナーにお いてその内容を市民に還元している。令和4年度は、客員研究 に加え、市の政策に直結した研究として、アンコンシャスバイ アスに関する調査研究を受託しており、本市のジェンダー平等 の取組の中心的な役割を担っている。

団体へ の改善 指導内 容

調査研究や国際的な取組については、関心の高い人 や研究者等だけでなく、広く市民に還元できるような 内容を検討するとともに、更なる効率的・効果的に事 業を実施するため、具体的な事業内容について、中長 期計画を策定すること。

その他~「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類

|統合を検討する団体

特に具体的な成果が求められ、成果が見られなければ統廃合を検討する団体

フォーラム雇用の研究員を廃止し、客員研究員による研究とすることで、幅広く時宣にかなった研究をすることができている。また、部長職はフォーラムとムーブの兼務とするなど運営体制を見直すとともに、事業では広報誌の発行回数減を実施した。今後も市の担当課と協議しながら、より効率的かつ効果的に事業を実施できるよう事業全体のあり方や運営体制について検討する。

| | ミッションに基づく具体的取組み(令和4年度) | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------------|--|-----------------|---|-----------------------------|--|--|---------------------------------------|--|-------------------------|--|
| | 目的(目指す | 状態) | | | | 活動計画(どうやって目的を達成するか) | | | | | | |
| 1 | 日本及び他のアジア諸国のジェンダー問題に関 する調査研究、国際交流等を通じて、日本及び他 | | | | | | 活動計画(どうやって目的を達成するか) 日本及び他のアジア諸国のジェンダー問題に関する調査研究及び国際交流の成果を活用してアジア地域との情報交換や国際協力事業などを実施する。 ①調査研究等の実施及び研究成果の共有・発信(研究誌の刊行) ②アジア地域のジェンダーに関する課題をテーマに講演・シンポジウム等を開催(アジア女性会議) ③市民にわかりやすい国際理解セミナー等の開催 ④海外拠点とのネットワーク事業の実施(HPを活用したSDGsに関する情報受発信等) ⑤ジェンダー主流化をテーマにアジア諸国等の行政官を対象に国際研修を実施 | | | | | |
| | 成果指標 R2年度実績 R3年度実績 R4年度目標 R4年度実績 | | | | | | 活動指標 | R2年度実績 | R3年度実績 | R4年度目標 | R4年度実績 | |
| | 国際的な見地を踏まえ男女共同参画の推進の必要性 を認識する市民が増加する状態を目指す | | | | | 1 | 研究誌刊行 | 1 ∰ | 報告会2回実施 研究誌1冊刊行 | 1∰ | 1 m | |
| | | | | | | 2 | アジア女性会議の 参加者数 | 191名 | 83名 | 100名 | 321名 | |
| | 各セミナー等の満足度 ア. 研究報告会 | ア 94% | ア100% | 0.00/ | ア100% | 3 | 国際理解セミナー 等の開催 | 1回 | 3回 | 4回 | 3回 | |
| | イ・ア・研究報告会 イ・アジ・ア女性会議 ウ・国際理解セミナー | イ 81% ウ 89% | イ 88% ウ 86% | 80% | イ 80% ウ 96% | 4 | ネットワーク事業 の実施 | SDGsに関する 情報の受発信 | SDGsに関する 情報の受発信 | SDGsに関する 情報の受発信 | SDGsに関する 情報の受発信 | |
| | ② KFAW HP・FB アクセス数 | 891, 781 件 | 596, 351 HP: 191, 146 FB: 395, 436 TW: 9, 769 | 前年度 と同程 度 | 922, 678 HP:194, 902 FB:123, 946 TW:576, 003 IG:27, 827 | (5) | 国際研修の実施 | 1回 | 3回 | 3回 | 2回 | |
| | 目的(目指す状態) | | | | | " | 舌動計画(どうやっ | て目的を | 達成するた | <u></u> ነ | | |
| 2 | 女性の地位! 国内外の情報: 男女共同参画: | や動向、 | 研究成果る | を発信し、 | | 市①研②る大③析発④ | 究民「究内の実際では、 果かか次をでは、 大の大のの実の市が、 大の大のででは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は | 発男会究開 画性 象信女の者催 に活 とす共開やや 関躍 しる同催実研 す推 た | 。参 務究 る進 出 連 者者 統実 前態 本 活ッ デ調 座 | 計 動 ト ー 査 に を ク に く に く く に く く く く く り く り く り く り く り | 沿った 共有す の 集・情報 | |
| | 成果指標 | R2年度実績 | R3年度実績 | R4年度目標 | R4年度実績 | | 活動指標 | R2年度実績 | R3年度実績 | R4年度目標 | R4年度実績 | |
| | 男女共同参画の推進の理解に繋がったと考える市 民が増加する状態を目指す(各セミナー等の満足 度) | | | | 1 | 第4次基本計画に 沿った研究・報告会 開催 | 1件 | 1件 報告会2回実施 | 2件 報告会1回実施 | 2件 報告会1回実施 | | |
| | | | | | 2 | 研究者ネットワー クセミナーの開催 | 1回 | 1回 | 2回 | 10 | | |
| | ア. 研究者ネットワークセミナー | 92% | _ アンケート実 施不可 | 80% | 88% | 3 | 統計データの収集・分析と女性活躍推進実態 調査の実施及びこれら の情報発信 | 2020統計 データ集 発行 | 統計デー タの更新 | 統計デー タの更新 | 統計 データ の更新 | |
| | イ. プログラム (キャリア形 成) | 83% | 84% | 80% | 86% | 4 | プログラムの検証 と実施 | 8回 | 8回 | 前年度 と同程 度 | 9回 | |

| | 目的(目指す状態) | | | | | | 活動計画(どうやって目的を達成するか) | | | | | | |
|---|---|-------------------------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------------|--|--------|--------|-----------------|--------|--|--|
| | など、様々な事業を実施する市の指定管理業務を 受託することにより、男女共同参画社会の形成を | | | | | | 【指定管理事業】 北九州市立男女共同参画センター・ムーブにおいて、市 民啓発事業、情報収集・提供事業、相談事業、調査・研究 事業、能力開発支援事業、市民・市民団体等への活動支援 事業など、女性の活躍、男女共同参画社会の形成を推進す るための様々な事業を展開する。 | | | | | | |
| | | 成果指標 | R2年度実績 | R3年度実績 | R4年度目標 | R4年度実績 | 活動指標 | R2年度実績 | R3年度実績 | R4年度目標 | R4年度実績 | | |
| 3 | 1 | 男女共同参 画社会とい う言葉の認 知度 | _ | _ | 80% | 78% | 男女共同参画セ ① ンターの講座数 | 78講座 | 114講座 | 125講座 | 112講座 | | |
| | 2 | 男女共同 参画の 等 座 度 | 90% | 90% | 80% | 92% | 多様な相談事業 ② (男女共同参画セ ンター) | 5事業 | 5事業 | 前年度 合同程 度 | 5事業 | | |
| | 3 | ムーブ HP・FB アクセス数 | 198, 777 件 | 237, 496 件 | 前年度 と同程 度 | 237, 4 97 件 | | | | | | | |